

「HIV 感染症における HLA と病態進行の関連に関する研究」への参加のお願い

第 3.0 版 令和 4 年 8 月 9 日作成

1. 研究の目的

HIV 感染症は進行すると免疫の力が低下します。進行の速さには、患者さんの HLA (human leukocyte antigen ; 俗に白血球の血液型とも呼ばれます) が関係していると言われています。HLA は感染した細胞を殺す免疫反応に関係し、HIV はその免疫反応から逃れようとして変異します。私たちは、患者さんの HLA の遺伝子、HIV に対する免疫反応、HIV の変化、そして病気の進行を多面的に調べたいと思います。これらの関係を明らかにすることにより、HIV 感染症の進行のメカニズムを明らかにし、新たな治療法やワクチン開発に役立てたいと考えています。

この研究では HLA の遺伝子を調べます。名前をわからないようにしてから、熊本大学エイズ学研究センター東京連携ラボの研究者と共同で調べます。ご希望があれば、この研究の計画のさらに細かい内容をご覧くださいことができます。この研究の趣旨をご理解の上、血液を提供していただける場合には、参加同意書に署名をお願いします。

2. 任意であり、同意の撤回は自由であること

この研究に参加しなくても、不利益を受けることはありません。一度同意しても、いつでも同意を取り消すことができます。同意を取り消した場合、採取した検体は完全に破棄します。

3. 個人情報保護され、匿名化され、研究成果が公表されること

患者さんのお名前については、番号に置き換えてわからないようにしてから研究に使わせていただきます。研究結果は、学会や学術雑誌などに発表しますが、その場合もプライバシーは保護されます。

4. 研究の資金源等、研究機関の研究に係る利益相反および個人の収益等、研究者等の研究に係る利益相反に関する状況

本研究は日本医療研究開発機構研究費エイズ対策実用化研究事業「イムノペプチドミクス解析を用いた HIV-1 完治療法を目指した研究」(研究代表者: 熊本大学 近田貴敬) より研究費の補助を受けております。回避または申告すべき利益相反状態はございません。

5. 採血の量と回数、謝礼・費用負担について

この研究のためだけに採血することはありません。通常診療の採血時、年 2 回程度 7ml 追加で採血させていただきます。患者さんへの謝礼・費用負担はありません。

6. HLA 遺伝子解析の結果説明と遺伝カウンセリングについて

患者さんご本人の希望があれば、HLA 検査結果のご説明を致します。必要であれば、遺伝カウンセリングを受けることも可能です。

7. 将来の医学研究での使用について

今回の研究のためにいただいた血液のうち、使用されなかった残りの部分を保存し、将来新たな研究に使わせていただいてもよろしければ、許可をお願い致します。新たな研究が行われる場合には、改めて当施設の倫理委員会の承認を得て、再度、患者さんの同意を得て行います。